



発行所 ☎730-0012
 広島市中区上八丁堀8番10号
 建設業労働災害防止協会広島県支部
 発行人 高見誠一
 TEL(082)228-8250
 印刷所 広島市西区東観音町3番8号
 中外印刷株式会社
 TEL(082)291-4646

定価 40円 送料 60円 毎月1回 10日発行 会員の方は会費に「建設防広島」の購読料が含まれています。 11月号

無事故の歳末 明るい正月

平成29年度 建設業年末年始労働災害防止強調期間 (平成29年12月1日～平成30年1月15日)

建設業における労働災害は、昨年、全国で死亡災害、死傷災害が、いずれも過去最少となったものの、今年は8月末で死傷災害は前年並みにも拘わらず、死亡災害が一転して増加に転じ、31人20%の大幅増加となり、9月末にも20人10.4%の増加となっています。中国地方も、死亡災害が2倍になった昨年と同じペースで発生しております。また、重機災害、墜落災害、交通災害が主に増加しており、9月末には厚生労働省から緊急要請も出されたところ です。

一方、広島県内の建設業でも死傷災害は前年並みで推移していますが、死亡災害が急増しております。9月末では、建設機械の転落災害、熱中症2件、現場を行き来する車両の交通事故で2件と5件となっていました。速報では10月上旬には建設機械の用途外使用によるつり荷が被災者に激突する災害、下旬には、鉄塔工事の基礎部解体工事で建屋の屋上から墜落する死亡災害が続発し合計7件となり、昨年の4件から大きく増加となる「非常事態」になっております。

建災防広島県支部では、平成25年度より始

まった第7次労働災害防止計画(国の第12次労働災害防止計画)の目標達成のため、「建設業フィンガー・チェック運動」の推進や安全指導者のパトロール、各種研修会等、会員一丸となって労働災害防止活動に取り組んできましたが、結果として安全管理活動の徹底が十分浸透しているとは言えない状況です。

従前からの技術者、技能者不足、さらに昨今の有効求人倍率の高止まりによる極端な求人難、加えて職場の高齢化の中、仕事は忙しく現場の災害リスクが高まってきているとの危機感を持ちながら活動を推進してきたところですが、非常に厳しい状況となり、後2か月足らずで年末年始を迎えることになりました。

こういった事態を各企業、各職場が真摯に受け止めていただき、何かと気ぜわしくな

る建設業年末年始労働災害防止強調期間に、重機災害、墜落災害、交通事故等の最重点防止対策の徹底に加え、教育、点検、統括管理、作業手順遵守等の事項について、全現場をあげて再確認をお願いし、「無事故の歳末 明るい正月」を迎えたいと思います。



目

無事故の歳末 明るい正月	1
全国、広島県内の建設業における死亡災害が増加しています!!	2
建設業における平成29年度(4月～9月) 司法事件一覧	3
転落災害防止に関する教材を作成しました!(厚生労働省)	3
平成29年度 広島県低層住宅建築工事安全対策協議会が開催されました	4

次

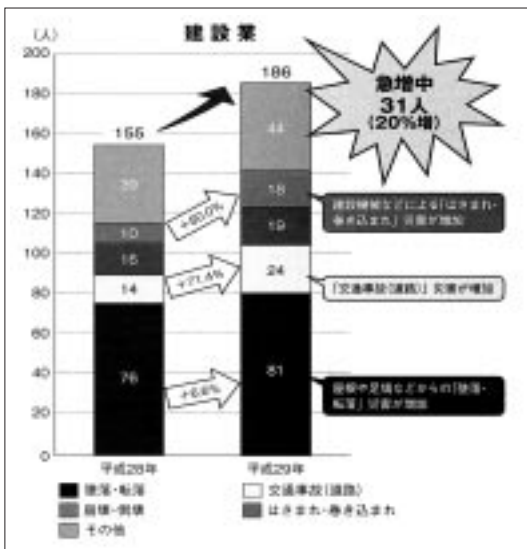
三分会安全衛生担当者等を対象に研修会が開催されました	5
中国ブロック建設工事従事者安全健康確保推進会議が開催されました	5
安全管理士だより	6
労働災害発生状況	7
講習・行事コーナー (平成29年11月～平成30年1月)	8

全国、広島県内の建設業における死亡災害が増加しています!!

平成28年は、建設業の死亡災害が始めて300人を下回って294人となり、死傷災害の15,058人といずれも過去最少となりましたが、今年になって死傷災害は昨年とほぼ同数で推移しているものの、死亡災害が急増し、8月末現在で186人と、前年同月の155人を31人20.0%の増加となり、平成29年9月22日厚生労働省安全衛生部長名で「職場における死亡災害撲滅に向けた緊急要請」が建設業労働災害防止協会等関係団体宛てにありました。

それによると、建設業では、

- (1) 建設機械等による「挟まれ、巻き込まれ」災害が80.0% (8人)増加しており、労働者の立ち入り制限や誘導員の配置など、車両系建設機械などの接触防止対策の実施を徹底すること
 - (2) 屋根や足場等からの「墜落・転落」災害が6.6% (5人)増加しており、高所作業における作業床の設置、安全帯の着実な使用などの墜落・転落防止対策の実施を徹底すること
 - (3) 「交通事故(道路)」が71.4%(10人)増加していることから「交通事故防止ガイドライン」に基づく対策の徹底をすること
- などの取組のポイントが示されています。



一方、広島県内の建設業労働災害の発生状況も、全国と同様に死傷災害は、前年より増加した昨年の状況に比べ、毎月増減を繰り返しながら同様の発生状況で推移しているが、死亡災害が7月には昨年1年間の総数と並ぶ4件に達し、7月28日広島労働局長より業界一丸となって労働災害防止の徹底を図るよう要請が行われました。その後2件目の熱中症死亡災害が発生し、この10月には車両系建設機械で用途外使用により吊り上げた荷が近くで玉掛け作業していた被災者に激突し、死亡する6件目の死亡災害が発生しました。本年の死亡災害は、業務中の交通事故(道路)2件、熱中症2件、車両系建設機械による転落災害、と10月の災害で2件と、同種災害が連続して発生しているという特徴があります。従って、同種災害の発生を防止するための対策の徹底が厳しく求められます。

県内建設業の死傷災害の発生状況の特徴を、災害の発生状況から見ると、9月末現在の死傷災害発生状況210件のうち、墜落・転落災害が前年同期よりやや減少したが、78件で全体の37.1%を占めており、次いで転倒災害が昨年同期と同じ27件(12.9%)、次いで切れこすれ災害が1件増加して20件(9.5%)、飛来落下災害が6件増加の18件(8.6%)でした。件数は多くはないけれども、交通事故が2件増加の7件、うち2件が死亡災害、熱中症(休業4日以上)が5件増加の6件で、うち2件が死亡災害になっています。

県内の監督署の管轄別では、三原署管内が昨年の12件から26件に大きく増加しており、土木、建築、その他の建築の工事別で死傷災害をみると、建築工事は、低層家屋工事が前年の71件から52件に20件27.8%減少し、ビル等の建築工事も119件から102件に17件14.3%減少し、その他の建設工事も9件、16.1%減少しましたが、土木工事が前年9月末の44件から61件と17件38.6%増加しています。

労働者死傷病報告による労働災害発生状況

各年9月末

広島労働局

業種	年		平成27年		平成28年		平成29年		増減数	増減率 %
	死亡	死傷者	死亡	死傷者	死亡	死傷者				
01 土木工事		43		44	2	61	17	38.6		
01 鉄骨・鉄筋家屋		30	1	27		15	- 12	- 44.4		
02 木造家屋建築		35		44		37	- 7	- 15.9		
02 建築工事	1	120	2	119	1	102	- 17	- 14.3		
03 その他の建設	1	47		56	2	47	- 9	- 16.1		
03 建設業小計	2	210	2	219	5	210	- 9	- 4.1		

建設業における平成29年度（4月～9月）司法事件一覧

広島労働局監督課

番号	業種	送致時期	被疑法令	条 項	あ ら す じ
1	道路建設 工事業	平成29年 5月	労働安全衛 生法違反	労働安全衛生法第 100条第1項・労働 安全衛生規則第 97条第1項（労働 者死傷病報告） 刑法第60条	道路舗装工事現場で、二次下請の労働者がアス ファルトフィニッシャーと既設道路の段差に右足 を挟まれ、休業60日を要する災害が発生した。二 次下請会社は、上記災害に係る労働者死傷病報告 を所轄労働基準監督署長に提出しなければならな かったのに、同社の代表取締役は、元請の取締役、 1次下請の元東広島営業所長と共謀の上、別の工 事現場で負傷したとした虚偽の内容の労働者死傷 病報告を提出したとして、二次下請会社と同社の 代表取締役、元請の取締役、1次下請の元東広島 営業所長が送検されたもの。
2	土木工事業	平成29年 6月	労働安全衛 生法違反	労働安全衛生法 第20条第1号・ 労働安全衛生規 則第158条第1項 （車両系建設機械 の接触防止）	住宅造成工事現場で、元請の労働者が降下してきたドラ グ・ショベルのバケットに激突され被災する災害が発 生した。元請会社の現場代理人は、運転中のドラグ・シ ョベルに接触する範囲に労働者を立ち入らせてはなら ないのに、これを怠ったとして、元請会社と同社の現場代 理人が送検されたもの。
3	土木工事業	平成29年 9月	労働基準法 違反	労働基準法第24条	労働者7名に対する平成28年9月から平成29年 3月までの7か月分の賃金約870万円を所定支払日 に支払わなかったとして、土木工事業を営む会社 と同者の代表取締役が送検されたもの。



転落災害防止に関する教材を作成しました！（厚生労働省）

転倒災害は、休業4日以上死傷災害（全産業）で最も件数の多い災害で、この減少を図るため、「STOP! 転倒災害プロジェクト」を厚生労働省が提唱し、各労働災害防止団体が連携して取組を進めているところです。

このたび、厚生労働省が転倒災害防止に係る教材を作成し、厚生労働省ホームページに掲載しております。

建設業においては、災害件数は多くを占めてはいませんが、職場の高齢化とともに、転倒災害の発生件数が増加傾向にありますので、ぜひ参考にされ、転倒災害防止対策にご利用ください。詳しくは当支部ホームページをご覧ください。



平成29年度 広島県低層住宅建築工事安全対策協議会が開催されました

平成29年度の広島県低層住宅建築工事安全対策協議会が10月20日に開催されました。協議会には、広島労働局、広島県土木建築局建築課のほか低層住宅建築関係団体等から9団体計16名が出席しました。

労働局健康安全課長より、建設業の死亡災害が10月20日現在6件になり、昨年同期より2件50%増加し、関係業界団体宛て労働災害防止対策の徹底を要請しているが、これから年末年始の忙しい時期を迎えるので、更なる安全対策の徹底をお願いしたいと挨拶がありました。また、広島県建築指導グループ主査から、建築基準法などに定める建築現場の公衆災害防止の徹底のため、国のガイドラインを参考にしてほしいと要請がありました。

労働局担当官より「低層住宅の災害発生状況」「労働災害防止に関する要請の趣旨」等について、今年9月までに木造住宅など低層住宅建築工事において発生した、44件の死傷災害のうち52%の23件が墜落・転落災害で、このうち「はしご・脚立」からの災害が9人39%を占めていること。これらの災害を防止対策について説明がありました。

建災防事務局から、1) 墜落防止用個人用保護具(安全帯)に関する検討委員会報告について、安全帯は胴ベルト型からフルハーネス型への移行を視野に、安全帯の構造規格の改正、原則としてフルハーネス型の使用、特別教育の創設など安衛規則の改正が平成30年度に予定されていることを説明し、2) 建設工事従事者安全健康確保推進法が施行され、国の基本計画に続いて各県ごとに地方計画が策定され、公共・民間工事を問わず発注者や元請の工事発注に際して、安全配慮措置が求められることを説明しました。

建災防安全管理士から、低層住宅工事現場のパトロール時の現場の課題と対策について豊富な現場の実例写真をもとに懇切な説明が行われました。

最後に、本協議会の足場施工事業者の代表委員でもある㈱ダイサンの中国エリア長様より、本年10月の全国建設業労働災害防止大会・低層住宅部会で発表された、「足場組立て作業の墜落災害を防止するためフルハーネス型安全帯を一部改善し、使用を徹底させるための取組」について、資料とともに貴重な事例を紹介していただきました。

(写真は低層住宅建築工事安全協議会・ビケハーネス型安全帯使用の事例発表の様様)



三次分会安全衛生担当者等を対象に研修会が開催されました

9月29日午後から3時間、三次市の十日市コミュニティセンターで三次分会内の建設工事安全衛生担当者を対象とした研修会が開催され、定員に近い72名の参加がありました。

この研修は、7月に三次分会内の安全指導者会議で安全指導者、監督署担当官、建災防広島県支部統括指導者等が集まり、指導者の安全パトロールを効果的に実施するには、まずパトロールを受ける側の現場の安全衛生担当者が安全管理全般について、基礎知識を身に付け、現場で必要な安全管理対策を取り、パトロールに際し、安全指導者のアドバイスを受けることがより効果的だとの意見によるものです。研修は、監督署、建災防県支部、安全管理士が講師を担当し、「労働災害の現状と労働安全衛生法の概要」、「労働災害にあわないために、どうすればよいか」、「安全パトロールで得た成果をどう生かすか」等について、関係法令、災害事例やパトロール現場の不安全箇所の指摘事項の写真、指差呼称の活動である『建設業フィンガー・チェック運動』の仕組み、統括管理と安全施工サイクル活動、始業点検、有害業務と健康管理等多くの項目にわたる研修を実施しました。この成果を現場の管理に生かし、さらに安全指導者パトロールで確認しながら分会全体のレベルアップが進むことを期待します。(写真は研修会場の模様)



中国ブロック建設工事従事者安全健康確保推進会議が開催されました

9月22日、広島合同庁舎において、上記推進会議が開催されました。この会議は、平成29年3月施行された「建設工事従事者の安全及び健康の確保に関する法律」により、「都道府県は、(政府が策定する)基本計画を勘案して、都道府県ごとの基本計画を策定するよう努めなければならない」とされ、国(国交省)が、各県の作成する基本計画に関する情報提供や助言指導を行い、各県における取組を共有することを目的として「中国ブロック建設工事従事者安全健康確保推進会議」を開催することになりました。

この会議では、中国地方整備局のほか、各県建設業担当者、建設業関係団体、各労働局が参加し、本法律に関する「国の基本計画」、「政府の取組内容」、「都道府県における計画の作成」等について、説明と意見交換が行われました。



会議の様子

安全管理士だより〔vol.1〕

建災防広島県支部駐在安全管理士 落合正典



建設業労働災害防止協会の広島県支部駐在安全管理士として、昨年の7月から、中国地方5県（鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県）の土木、建築工事等の様々な現場において、安全水準向上のための安全パトロール、講演活動を行っております。建災防会員の皆様から多くのご要請をいただくなど、多大なご協力を賜っておりますことに対しまして厚く御礼を申し上げます。

さて、このような活動を通じて得ました情報や感想等をこの「安全管理士だより」のコーナーで可能な範囲でお伝えすることとなりましたのでよろしくお願いたします。

さて、11月となり秋が深まりゆく季節となりましたが、今夏の猛暑の中で、残念ながら広島では建設業におきまして2名の熱中症による死亡労働災害が発生しました。中国5県でも、各局の発表を見る限りでは死亡に至ったケースは広島県のみようです。

熱中症に関しましては、厚生労働省は5月から「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」を展開するなど異例の取組を行い、また、建設業各社もそれに呼応するかのように様々な準備・取組を早めに進めるなど対策を行ってきたところでしたので残念な結果となりました。

中国5県の安全パトロールにおける熱中症対策の状況についてお伝えします。各現場では、暑さ指数（WBGT値）の把握、水分・塩分の摂取、休憩場所の整備、作業時間の短縮、健康状態の把握等の取組が確認されました。その中で印象に強く残りましたのが、外観が御簾などの涼やかな演出を加えた高床の休憩施設で、現場から50m位の距離で風通しの良い場所に設置され、しかも作業員全員で伏臥できる広い床に、ござ、マットが備えてあるというものです。それは、山中の土木現場にあたかも「海の家」が突然に現れたかのようなオアシスであり、涼感豊かなデザイン性と機能が優れ（写真1）、これには、同行した安全指導者の方々も口を揃えての絶賛の高評価となり、ベスト熱中症対策賞を差し上げたい位のアイデア溢れる魅力的な施設でした。

そのほか、KYに健康チェックの項目を付加したシートを活用し日々作業員の健康状態をチェックしている事例、WBGT値をリアルタイムで数値と危険レベルを分かりやすく掲示している事例、空調服を支給し感謝されている事例、作業箇所メッシュシートを張り直射日光を遮っている事例（写真2）など各社とも創意工夫をこらした積極的な取組が行われていました。

一方で、会社として水分・塩分補給の準備をせず作業員任せとなっている事例、広い現場でありながら近場に避暑が可能な休憩施設がない事例、WBGT値の把握がなされていない事例などの問題も認められました。そのほかのポイントとしては衛生教育があり、熱中症発生メカニズム、暑熱順応、異常への気づきと緊急対処等の知識を、現場で全員が共有した上で作業を行うことが、熱中症発症リスク低減化のために重要と考えます。



写真 1



写真 2

平成28年・29年 建設業における事故の型別労働災害発生状況 (労働者死傷病報告による)

広島労働局 (平成29年9月末)

事故の型別	墜落転	転倒	激突	飛来落下	崩壊	突され	はきま	切れ	踏み	高温・低温の物との接	有害物質との接	感電	火災	交通事故	動作の反動	その他	合計
平成28年	(1)83	27	11	12	(1)9	9	22	19	2	1	2	1	0	5	15	1	(2)219
平成29年	(1)78	27	7	18	7	9	14	20	0	(2)6	0	0	2	(2)7	14	1	(5)210

()内は、死亡の内数

平成28年・29年 全産業・建設業・署別労働災害発生状況 (労働者死傷病報告による)

広島労働局 (平成29年9月末)

監督署別	全 産 業							建 設 業							対前年増減数	対前年増減数 (%)	建設業 / 全産業 (%)
	平成28年			平成29年			増減数	平成28年			平成29年						
	死亡	休業	死傷計	死亡	休業	死傷計		死亡	休業	死傷計	死亡	休業	死傷計				
広島中央	1	580	581	3	612	615	34	1	62	63	1	60	61	-2	-3.2	9.9	
呉	3	207	210	2	177	179	-31	0	19	19	0	17	17	-2	-10.5	9.5	
福 山	4	390	394	6	408	414	20	1	47	48	2	41	43	-5	-10.4	10.4	
三 原	1	110	111	4	125	129	18	0	12	12	1	25	26	14	116.7	20.2	
尾 道	0	125	125	2	142	144	19	0	17	17	0	11	11	-6	-35.3	7.6	
三 次	1	116	117	1	119	120	3	0	20	20	1	14	15	-5	-25.0	12.5	
広島北	0	224	224	2	196	198	-26	0	28	28	0	29	29	1	3.6	14.6	
廿日市	0	192	192	1	159	160	-32	0	12	12	0	8	8	-4	-33.3	5.0	
合 計	10	1,944	1,954	21	1,938	1,959	5	2	217	219	5	205	210	-9	-4.1	10.7	

平成29年 建設業死亡災害発生状況

広島労働局 (平成29年10月4日現在)

No.	発生日	業 種	職 種	性別	年齢	経験	事故の型	起因物	災 害 発 生 状 況
1	1月	建設設備工事	電 工	男	20代	4年	交通事故 (道路)	トラック	工事の現場作業が終わり、次の現場に高所作業車を運転して川の土手にある道路を走行中、対向車と離合する際、運転を誤り、法面をすべり横転し、川に水没し溺死した。
2	2月	電気通信工事	作業員	男	50代	30年	交通事故 (道路)	トラック	トラックで高速道路を走行中にタイヤがパンクしたため、路側帯に停車し車外に出ていたところ、別のトラックにはねられた。
3	4月	機械器具設置工事	オペレーター	男	40代	22年	墜落・転落	掘削用機械	調整池の埋立作業のため、ドラグショベルを運転し泥をかき出す作業を行っていたところ路肩を踏み外しドラグショベルごと池の中に転落し、池の泥水を呑み込んで窒息死した。
4	7月	屋根改築工事	配管工	男	20代	4ヶ月	熱中症	暑熱環境	被災者は屋根上で金属製スレートカバーを運搬する作業を行っていたが、当該作業が終了し、地上にて点呼を行ったところ、屋根上で意識を失った被災者が発見されたもの。
5	8月	その他の土木工事	作業員	男	50代	4年	熱中症	暑熱環境	市道等維持補修の除草作業を終日行って会社に戻り、その後、事業場敷地内の駐輪場で意識不明の状態で見つかり、2か月弱入院していたが、9月下旬に死亡した。
6	10月	建築工事	作業員	男	50代	8年	激突され	掘削用機械	ドラグ・ショベルで、コンクリートブロックを吊上げる作業中、バケットが下がり、近くでブロックの玉掛け作業を行っていた被災者の頭部が、バケットとブロックの間に挟まれた。

平成29年度講習計画

(平成29年11月～平成30年1月末までの計画)

建設業労働災害防止協会広島県支部

建設工事に従事する労働者の
ための安全衛生教育
「建設従事者教育」(6時間)
*要請により、随時実施(支部)

作業主任者技能講習の日程

足場の組立て等	実施場所	担当分会	型枠支保工の組立て等	実施場所	担当分会	コンクリート造の工作物の解体等	実施場所	担当分会
12月6～7日	広島市	広島	11月21～22日 1月17～18日	呉市 広島市	呉 広島	11月28～29日	広島市	広島
						木造建築物の組立て等	実施場所	担当分会
						1月15～16日	福山市	福山

特別教育日程

足場の組立て等	実施場所	受付分会	低圧電気取扱業務	実施場所	受付分会	自由研削砥石取替え等業務	実施場所	受付分会
12月14日 1月29日	広島市 福山市	広島 福山	12月12日 1月19日	広島市 呉市	広島 呉	1月31日	呉市	呉
						ロープ高所作業(学科のみ)	実施場所	受付分会
						12月19日	広島市	広島
巻き上げ機(ウインチ)運転	実施場所	受付分会						
1月30日	広島市	広島						

統括・職長等各種教育日程

現場管理者統括管理	実施場所	受付分会	職長・安全衛生責任者教育	実施場所	受付分会	職長・安全衛生責任者 能力向上教育	実施場所	受付分会
1月23日	福山市	福山	11月15～16日 12月11～12日 1月24～25日	広島市 福山市 広島市	広島 福山 広島	11月13日 12月13日	福山市 広島市	福山 広島
安全衛生推進者 能力向上教育(初任時)	実施場所	受付分会				斜面点検者教育	実施場所	受付分会
11月14日	福山市	福山				1月16日	広島市	広島

*詳細につきましては、支部及び各分会にお問い合わせください。
なお、定数に満たない場合は中止、または、延期する場合があります。

建災防広島県支部(082)228-8250

広島県支部各分会

広島分会(082)228-8252
呉分会(0823)22-6886
福山分会(084)924-4320

三原分会(0848)63-9920
尾道分会(0848)22-8918

三次分会(0824)62-4391
廿日市分会(0829)31-0196

ホームページアドレス

建災防広島県支部 <http://www.jcosha-hiroshima.jp/>
建災防広島県支部広島分会 <http://www.jcosha-hiroshima.jp/hiroshimabunkai/>
建災防広島県支部福山分会 <http://fukubun.sakura.ne.jp/>
建災防広島県支部三次分会 <http://ww7.enjoy.ne.jp/~kfm62/>